

これからの CAD/CAM に求められる デジタルリテラシー



武田 航

2014年のCAD/CAM冠の保険収載を機に、歯科技工でのデジタル化が一気に加速した。さらに現在では、口腔内スキャナー“IOS”がチェアサイドに導入されることにより、歯科業界全体でデジタル化が急速に進んでいる。CAD/CAM市場が導入期を終え成長期に入っている今、大きな変化をもたらしているのがIOSである。これを活用した歯科治療・技工作業の極めて著しい変化は、多くの人が否定できないことだと思う。このデジタル化への変化に伴い、それに求められる知識および技能も変化しており、“スキャニング・デザイン・CAM・加工/造形等”，それぞれで求められる知識および技能を習得しなければより良い補綴装置の製作や、ワークフローの効率化・歩留まりの低下につながらない。

そこで今回モデルレスでのIOSケースを含め、これからCAD/CAMを活用しDX化するために必要な取り組み・知識を紹介したい。

【略歴】

2006年4月 パナソニック デンタル株式会社 入社
2009年10月 パナソニック株式会社 出向
2014年4月 株式会社 LAZARUS 入社
2015年1月 株式会社 Johnny's Factory 設立
2015年4月 新大阪歯科技工士専門学校 入学
2018年3月 新大阪歯科技工士専門学校 卒業
2018年3月 歯科技工士免許取得
2022年4月 株式会社 Dental Next 設立

【所属】

(一社) 日本デジタル歯科学会 会員
(公社) 日本歯科技工士会 会員
(一社) 大阪府歯科技工士会 中央北支部 所属
(一社) 日本歯科技工所協会 加盟
ILSC 即時荷重研究会 会員
日本顎咬合学会 会員